

## 若手会5周年記念大会 68名参集



“群れない”京大生  
 同窓の絆、育む

3月24日(土)  
 晴れ後曇り  
 気温16.8度

2018年3月24日(土)、東京都江東区民  
 総合区民センターにおいて、京都大学若手会5  
 周年記念大会が開催された。京都大学若手会  
 は、満45歳以下の京都大学卒業生、修了生で  
 構成され、今回は合計68名が参加。若手会会  
 長許志国(愛称ジコ会長)が会を足すさ  
 せてから5年。氏の志が結実した瞬間だった。

### 若手会の歩み

- 2013年3月 品川にて産声を上げる。設立総会には88名もの参加
- 2013年11月 京都大学の時計台にて凱旋交流会
- 2014年3月 品川にて第六回交流会。参加申込人数104名を記録
- 2015年6月 初の大阪開催。関西でも交流広がる
- 2016年8月 六本木ヒルズで講演会開催。史上最大参加人数86名を記録

「知り合ったのは3分前  
 なんです。」  
 まるで旧知の仲のよ  
 うに談笑する参加者が  
 言う。5周年を記念す  
 る本大会では、数々の  
 レクリエーションが企画  
 され、参加者同士で活  
 発な交流が図られた。  
 (関連記事2面)。  
 この企画を仕掛けた  
 のは、法学部2000年  
 卒の岩田率いる幹事団  
 会はず、ジコ会長  
 のあいさつに始まり、5  
 年間の軌跡を振り返る。

その後、京大OJにして  
 「を再生させたことで  
 も知られる西澤氏の基  
 調講演、更に、東京大  
 学奇術研究会によるマ  
 ジックショー、参加者が  
 相互交流し、クリアを  
 目指すトレジャーハン  
 ティングゲーム、懇親  
 会、二次会と、盛りだ  
 くさんのコンテンツを  
 味わいつくした。かつて  
 「群れない」といわれた  
 京大生も、学友達との  
 邂逅に、交流を喜び  
 合った。

## 京大副学長からも祝辞



京都大学若手会5周年を記念し、京  
 都大学同窓会代表幹事にして、京都大  
 学副学長を務める徳賀芳弘氏から祝  
 辞が贈られた。氏は同窓会担当の副学  
 長として、長年に渡り世界に広がる同  
 窓会を見て回り、多くが現在では高齢と  
 なった同窓生たちで運営されていたこ  
 と、その意味で若手会の意義は深いこ  
 ということ、それを存続させていくこと  
 の苦勞に言及。若手会の歩みを讃えた。

5周年記念の文字が  
 飾られたケーキ



### 基調講演

## “君たちはどう生きるか？”

この時代だからこそ投げかけられた問い

元企業再生支援機構代表取締役である西澤宏繁氏(81)を招いて  
 の基調講演が行われた。講演では、リバイバルヒットを果した吉  
 野源三郎氏の『君たちはどう生きるか』を題材に、現代が持つ閉塞  
 感を、歴史的背景を交え洞察。戦後、日本が進歩主義的に発展し  
 た経緯と、その崩壊と転換を経た現代を比較し、若い世代に向け、  
 個人としての生きる強さが問われる時代であるということ、それ  
 中で生きぬく起業家にも言及し、力強いメッセージが寄せられた。



▽基調講演を行う西澤氏

歴史的背景にまで切り込  
 む深い洞察に観衆は聞き  
 入った。

### 新役員誕生



幹事団リーダー岩田氏が、  
 若手会役員に就任。抜群  
 の統率力を知らしめた男  
 は、今後役員としても辣  
 腕を振るう。えっご期待。

### お誕生日祝い



会の中では、若手会の5歳  
 の誕生日を祝う一幕も。  
 美女とのケーキ入刀に、  
 思わず笑みのこぼれる  
 ジコ会長、氏の苦勞が報  
 われた瞬間。ケーキは我  
 らが京大ロゴプリントのデ  
 コレーション。

### ▽講演者来歴

西澤宏繁氏  
 61年京都大学経済  
 学部卒業(株)日本  
 興業銀行入行  
 97年(株)東京都民  
 銀行代表取締役頭  
 取04年、同行代表  
 取締役会長、08年、  
 同行相談役、09年、  
 同行顧問を歴任。  
 07年、日本商工会  
 議所特別顧問09年  
 (株)企業再生支援  
 機構代表取締役社  
 長に就任。

# 二次会、大盛況 ジーコ監督満面の笑み



▽大盛況の二次会  
参加者相互の交流が深まった

“年収5千万のスカウト”  
そんな中、幹事団リーダーの岩田氏から、実は人材スカウトの部署に在籍しており、最大年収5千万円のオファーのあることが暴露される。世情に疎い京大生も、このオファーには思わず生唾を飲み込む。長年営業畑を歩んできた男の、人脈把握術だった。その後、岩田氏のテールに人が殺到したのは、言うまでもない。



▽花束に笑みがこぼれるジーコ会長

“会長へサプライズ”  
二次会の最後では、これまでも、そしてこれからも会を率いていくジーコ会長へ、サプライズで花束のプレゼント。本日2日目となる美女との共同作業に、ジーコ会長も思わずにこり、これからも、10周年、15周年に向け、全力で走り続けてもらいたい。

## 幹事団紹介

 平井 (新聞編集)	 三宅 (名簿)	 岩田 (幹事団長)	 四方 担当役員	 石川 担当役員
 沼尻 (写真)	 鼓 (受付)	 木原 (余興)	 李 (司会)	 津田 (司会)
 鶴田 (写真)	 小池 (写真)	 西村 (写真)	 沖元 (写真)	 田部 (写真)

# 充実のレクリエーション

## マジックショーやトレジャーハント

### 参加者同士の交流活発



▽トレジャーハントの様子

配布された質問事項に、該当する人を多く見つけた人が勝ち。但し、質問内容は全員異なり、参加者の誰が質問に該当するのかが分からない。参加者の一人一人を「お宝」に見立て、人でも多くのお宝を見つけていく。初対面の人同士のコミュニケーション能力が問われ、人見知り気味な京大生には難易度が高いかと懸念された。

“コツがわかってきたぞ!”

幹事団の懸念も何のその、ゲームが始まるや数分で雄叫びを上げる男性。実はこのゲーム、5周年にちなんで全て5に所縁のある質問が並んでいる。といっても、幹事津田さん作成の質問票は、一人一人質問内容の異なる力作。回答を全て見つけるには、並大抵のことはできない。そんな中、なんと15人もの回答者を見つけ、優勝したのは宮野さん。さすがのコミュニケーション能力。

“俺たちはこう生きる”

余興では、東大奇術研究会の若者2名によるステージマジックも披露された。西澤氏の講演で「努力が必ず報われるわけではない時代(＝筆者意識)を生きる若者たちの挑戦が始まった。

## マジックショー



▽東大奇術研究会の若手マジシャン  
驚くべき早業の数々を披露した

1人目のマジシャンが、鮮やかに手錠からの脱出マジック、観客の選んだカードを当てたトランプマジック、一瞬にしてスカートの色を変える早業マジックを披露し、沸く会場。真打の2人目は、2本のロープを一本にする離れ業に続き、袋の中に入ったミカンを、一瞬でレモンに置き換えるという、プロ顔負けのテクニクを見た。永遠のライバル京大の同窓会に乗り込む度量と合わせ、志ある若者の挑戦を会全体で称賛した。

## 若手会小物語

幹事たちの印象に残った出来事

### ▽度胸抜群の李さん



「恥ずかしくありません、どうぞ堂々とさせていただきます、李さん、ナイスプレー!」

深夜の幹事会  
会の前日深夜。外苑前の高級オフィスで頭を抱える男たち。幹事団だ。実は、会の前日まで、当日のレイアウトは見当が続き、ジーコ会長の鶴の一言で最終的にスクール形式に。幹事団が帰路については明け方近くであった。  
司会無茶ぶり  
当日司会をお願いしていた方の体調不良により、急遽七大学若手会役員李さんに前日オファー。突然の無茶ぶりにも関わらず

## 今後の予定

- 5月26日 若手会昼食会
- 9月8日 若手会年次総会
- 秋頃: 七大学若手会 ★七大学若手会会長総選挙★
- 11月24日 若手会感謝祭



お花見会も盛況  
気になるイベントも続々

24日の興奮冷めやらぬ4月7日(土)、江東区猿江公園で花見会が実施された。残念ながら桜は散ってしまったあとではあったが、それを上回る交流で会話に花が咲き乱れていた。若手会は今後、左記参照。